

県立大学の設置に関する学びの需要調査結果
(保護者)

I 調査概要

(1) 調査対象

県立学校および私立高校（特別支援学校を含む）の高校2年生（2年次、特別支援学校高等部の2年次にあたる生徒）およびその保護者

(2) 調査方法

生徒用調査票と保護者用調査票の2種類を各高校等にまとめて送付し、各校において生徒及び保護者に対し配布した。生徒及び保護者は回答後、調査票を各校に提出し、各校はとりまとめのうえ、返送を行った。

生徒：紙による調査票にて回答

保護者：紙による調査票、または調査票に印字したQRコードからWEB上のいずれかにて回答

(3) 調査期間

令和3年6月16日から7月26日まで

(4) 回答結果

対象者数：15,939人

回答数：11,118人

回答率：69.8%

(5) 調査項目

- ① 属性
- ② 進学希望先
- ③ 県内に公立大学が新設された場合の進学希望
- ④ 大学・短期大学に関する情報
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響
- ⑥ 就職等

※ 調査結果の表示方法

- ① 比率は、原則として各設問のサンプル数(n)に対する百分率を表しています。
- ② 比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入しているため、百分率の合計が100%にならない場合があります。
- ③ 複数回答の質問の比率は、回答数の合計をサンプル数(n)で割った比率となっており、比率の合計は通常100%を超えます。

II 調査結果

1 属性

問1 お子様からみた、あなたの続柄を教えてください。(回答は1つだけ)。

子どもとの続柄は、「父」が12.1%、「母」が86.8%、「その他」が0.8%となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	父	1,341	12.1
2	母	9,648	86.8
3	その他	86	0.8
	不明	43	0.4
	計	11,118	100

問2 アンケート用紙を持ち帰られたお子様の続柄を教えてください。(回答は1つだけ)。

子どもの続柄は、「長男」が33.4%で、「次男」が12.0%、「三男」が1.9%、「四男」が0.2%、「長女」が36.8%、「次女」が12.9%、「三女」が1.9%、「四女」が0.2%、「その他」が0.5%となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	長男	3,718	33.4
2	次男	1,333	12.0
3	三男	211	1.9
4	四男	24	0.2
5	長女	4,086	36.8
6	次女	1,430	12.9
7	三女	206	1.9
8	四女	17	0.2
9	その他	54	0.5
	不明	39	0.4
	計	11,118	100

問3 お住まいの地域を教えてください。(回答は1つだけ)。

住んでいる地域は、「北勢地域」が47.3%、「中勢地域」が28.2%、「南勢志摩地域」が12.8%、「伊賀地域」が7.8%、「東紀州地域」が2.8%、「三重県外」が0.7%となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	北勢地域	5,262	47.3
2	中勢地域	3,131	28.2
3	南勢志摩地域	1,428	12.8
4	伊賀地域	870	7.8
5	東紀州地域	306	2.8
6	三重県外	82	0.7
	不明	39	0.4
	計	11,118	100

2 進学希望先

問4 お子様と卒業後の進路について話をしますか。(回答は1つだけ)。

卒業後の進路について子どもと会話するかについては、「時々する」が63.8%で最も高く、次いで「よくする」(21.4%)、「あまりしない」(13.0%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	よくする	2,379	21.4
2	時々する	7,088	63.8
3	あまりしない	1,441	13.0
4	しない	173	1.6
	不明	37	0.3
	計	11,118	100

問5 お子様の卒業後の進路を決める要素で、最も影響が大きいものを教えてください。(回答は1つだけ)。

子どもの進路を決める要素として最も影響が大きいものは、「子どもの考え」が89.6%で最も高く、次いで「家庭の経済的な事情」(5.7%)、「保護者の方針」(2.4%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	子どもの考え	9,957	89.6
2	保護者の方針	267	2.4
3	学校の先生の助言	106	1.0
4	塾や予備校の先生の助言	31	0.3
5	家庭の経済的な事情	634	5.7
6	その他	71	0.6
	不明	52	0.5
	計	11,118	100

問6 あなたが希望する、お子様の卒業後の進路を教えてください。(回答はいくつでも可)。

希望する子どもの卒業後の進路は、「大学進学」が64.3%で最も高く、次いで「就職(アルバイト等を含む)」(33.5%)、「専門学校進学」(32.1%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	大学進学	7,148	64.3
2	短期大学進学	1,803	16.2
3	専門学校進学	3,571	32.1
4	就職(アルバイト等を含む)	3,724	33.5
5	その他	291	2.6
	不明	67	0.6

問7から問22は問6で「1 大学進学」、「2 短期大学進学」を選んだ方にお伺いします。

問7 お子様の卒業後の進学先を決める際に、あなたは何を重視しますか。(重視するものを第3希望まで回答)。

子どもの卒業後の進路を決める際に重視することは、「専攻したい学問分野がある」が60.2%で最も高く、次いで「国公立の大学・短期大学である」(41.8%)、「資格・免許がとれる」(38.0%)となっています。

〔複数回答での件数・%〕

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	国公立の大学・短期大学である	3,213	41.8
2	私立の大学・短期大学である	538	7.0
3	総合大学である	377	4.9
4	大学院が設置されている	48	0.6
5	伝統や知名度がある	502	6.5
6	専攻したい学問分野がある	4,619	60.2
7	有名な教員、優秀な教員がいる	167	2.2
8	資格・免許がとれる	2,921	38.0
9	就職のための支援が充実している	2,626	34.2
10	校風やキャンパスの雰囲気がよい	772	10.1
11	施設・設備がよい	478	6.2
12	本人の入りたいクラブ・サークルがある	327	4.3
13	入試の難易度	788	10.3
14	入試科目・選抜方法	387	5.0
15	授業料が安い	1,422	18.5
16	奨学金制度が充実している	593	7.7
17	自宅から通える	2,388	31.1
18	親元を離れられる	89	1.2
19	大都市にある	46	0.6
20	その他	106	1.4
	不明	23	0.3

〔順位別での件数・%〕

No.	カテゴリ	1位		2位		3位	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
1	国公立の大学・短期大学である	2,176	28.3	614	8.0	423	5.5
2	私立の大学・短期大学である	157	2.0	240	3.1	141	1.8
3	総合大学である	73	1.0	165	2.1	139	1.8
4	大学院が設置されている	3	0.0	23	0.3	22	0.3
5	伝統や知名度がある	97	1.3	164	2.1	241	3.1
6	専攻したい学問分野がある	2,594	33.8	1,421	18.5	604	7.9
7	有名な教員、優秀な教員がいる	18	0.2	81	1.1	68	0.9
8	資格・免許がとれる	698	9.1	1,299	16.9	924	12.0
9	就職のための支援が充実している	619	8.1	987	12.9	1,020	13.3
10	校風やキャンパスの雰囲気がよい	47	0.6	274	3.6	451	5.9
11	施設・設備がよい	26	0.3	156	2.0	296	3.9
12	本人の入りたいクラブ・サークルがある	100	1.3	109	1.4	118	1.5
13	入試の難易度	114	1.5	302	3.9	372	4.8
14	入試科目・選抜方法	24	0.3	113	1.5	250	3.3
15	授業料が安い	213	2.8	554	7.2	655	8.5
16	奨学金制度が充実している	42	0.5	189	2.5	362	4.7
17	自宅から通える	570	7.4	762	9.9	1,056	13.8
18	親元から離れられる	13	0.2	23	0.3	53	0.7
19	大都市にある	5	0.1	17	0.2	24	0.3
20	その他	61	0.8	17	0.2	28	0.4
	不明	28	0.4	168	2.2	431	5.6
	計	7,678	100	7,678	100	7,678	100

問8 あなたが第1希望として、お子様に進学してほしいと思う大学・短期大学の区分を教えてください。(回答は1つだけ)。

子どもの進路として、希望する第1志望の大学・短期大学の区分は、「国公立」が48.9%で最も高く、次いで「国公立・私立どちらも考えている」(38.8%)、「私立」(10.8%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	国公立	3,756	48.9
2	私立	830	10.8
3	国公立・私立どちらも考えている	2,981	38.8
	不明	111	1.4
	計	7,678	100

問9 問8で「1 国公立」、「3 国公立・私立どちらも考えている」を選択した方にお伺いします。

お子様に国公立大学・短期大学へ進学してほしい理由を教えてください。(あなたの考えに近いもの3つまで回答)。

子どもの進路として、国公立大学の大学・短期大学を希望する理由は、「学費が安いから」が74.8%で最も高く、次いで「本人が希望する学部があるから」(38.3%)、「就職に有利であると思うから」(31.7%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	教員一人当たりの学生数が少ないから	641	9.5
2	本人にあった難易度の大学・短期大学があるから	1,108	16.4
3	安心感があると思えるから	1,809	26.9
4	評判が良いと聞くから	350	5.2
5	あこがれている大学・短期大学があるから	718	10.7
6	本人が希望する学部があるから	2,580	38.3
7	就職に有利であると思うから	2,136	31.7
8	学費が安いから	5,039	74.8
9	先生が勧めるから	87	1.3
10	その他	114	1.7
	不明	62	0.9

問10 お子様の進路として、あなたが希望する大学・短期大学の所在地について教えてください。(回答は1つだけ)。

子どもの進路として、希望する大学・短期大学の所在地は、「県内・県外どちらでもよい」が51.3%で最も高く、次いで「県内(できれば県内)」(37.1%)、「県外(できれば県外)」(8.9%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	県内 (できれば県内)	2,849	37.1
2	県外 (できれば県外)	685	8.9
3	県内・県外どちらでもよい	3,936	51.3
	不明	208	2.7
	計	7,678	100

問11 お子様の進路として、県外の大学・短期大学に進学されることについて、どのようにお考えですか。(回答は1つだけ)。

子どもの進路として、県外に進学することについては、「子供の考えに任せる」が54.7%で最も高く、次いで「自宅から通学できれば県外の大学・短期大学でも構わない」(20.5%)、「できれば県内の大学・短期大学に自宅から通学してほしい」(17.6%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	子どもの考えに任せる	4,202	54.7
2	できれば県内の大学・短期大学に自宅から通学してほしい	1,355	17.6
3	自宅から通学できれば県外の大学・短期大学でも構わない	1,571	20.5
4	県外の大学・短期大学に進学し一人暮らしを経験させたい	286	3.7
5	大学・短期大学に入ることができればどこでもよい	148	1.9
	不明	116	1.5
	計	7,678	100

問 12 お子様の進路として、進学を希望する大学・短期大学等の所在地についてどのようにお考えですか。(回答は1つだけ)。

子どもの進路として、進学を希望する大学・短期大学等の所在地は、「自宅から通えるところがよい(できれば自宅から通えるところがよい)」が56.5%で最も高く、次いで「自宅から通うことにこだわらない」(37.9%)、「進学を機に自宅を出てほしい(できれば進学を機に自宅から出てほしい)」(4.6%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	自宅から通えるところがよい(できれば自宅から通えるところがよい)	4,335	56.5
2	自宅から通うことにこだわらない	2,911	37.9
3	進学を機に自宅を出てほしい(できれば進学を機に自宅から出てほしい)	350	4.6
	不明	82	1.1
	計	7,678	100

問 13 お子様の進路として、大学・短期大学には、どれくらいの通学時間(片道)であれば、自宅から通学してほしいですか。(回答は1つだけ)。

子どもの進路として、自宅から通学してほしい通学時間(片道)は、「1時間以内」が35.5%で最も高く、次いで「1時間30分以内」(35.1%)、「2時間以内」(18.0%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	30分以内	260	3.4
2	1時間以内	2,724	35.5
3	1時間30分以内	2,697	35.1
4	2時間以内	1,379	18.0
5	2時間以上でもよい	143	1.9
6	自宅通学は考えていない	381	5.0
	不明	94	1.2
	計	7,678	100

問 14 お子様の進路として、大学・短期大学への進学には、毎年どれくらいの負担（授業料、仕送り等）が可能と考えていますか。奨学金を除いた金額でお答えください。（回答は1つだけ）。

子どもの進路として、進学に負担可能な金額は、「100万円程度まで」が37.4%で最も高く、次いで「50万円程度まで」（18.1%）、「150万円程度まで」（17.2%）となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	50万円程度まで	1,393	18.1
2	100万円程度まで	2,874	37.4
3	150万円程度まで	1,318	17.2
4	200万円程度まで	660	8.6
5	200万円以上	177	2.3
6	考えていない	1,150	15.0
	不明	106	1.4
	計	7,678	100

問 15 お子様の進路として、大学・短期大学への進学にあたって、奨学金（貸与型または給付型）制度を活用することを考えていますか。（回答は1つだけ）。

子どもの進路として、進学に奨学金制度の活用の有無は、「活用を考えている」が43.0%で最も高く、次いで「決めていない・わからない」（36.0%）、「活用は考えていない」（20.0%）となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	活用を考えている	3,300	43.0
2	活用は考えていない	1,538	20.0
3	決めていない・わからない	2,763	36.0
	不明	77	1.0
	計	7,678	100

3 県内に公立大学が新設された場合の進学希望

問 16 あなたは公立大学が県内に新設されたら、お子様の進学先の候補として考えますか。(回答は1つだけ)。

公立大学が県内に新設されたら、子どもの進学先の候補として考えるかについては、「進学先の候補として考える」が82.0%、「進学先の候補として考えない」が16.5%となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	進学先の候補として考える	6,299	82.0
2	進学先の候補として考えない	1,266	16.5
	不明	113	1.5
	計	7,678	100

問 17 問 16 で「1 進学先の候補として考える」を選んだ方にお伺いします。
子どもの進学先の候補として考えた理由を教えてください。(あなたの考えに近いものを第2位まで回答してください)。

子どもの進学先の候補として考えた理由は、「学費が安いイメージがあるから」が67.7%で最も高く、次いで「自宅から通えるから」(56.6%)、「公立大学なので安心感があると思えるから」(45.2%)となっています。

〔複数回答での件数・%〕

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	公立大学なので安心感があると思えるから	2,849	45.2
2	就職に有利なイメージがあるから	1,020	16.2
3	学費が安いイメージがあるから	4,263	67.7
4	自宅から通えるから	3,563	56.6
5	新しい大学であるから	378	6.0
6	その他	130	2.1
	不明	17	0.3

〔順位別での件数・%〕

No.	カテゴリ	1位		2位	
		件数	割合 (%)	件数	割合 (%)
1	公立大学なので安心感があると思えるから	1,994	31.7	855	13.6
2	就職に有利なイメージがあるから	374	5.9	646	10.3
3	学費が安いイメージがあるから	2,520	40.0	1,743	27.7
4	自宅から通えるから	1,167	18.5	2,396	38.0
5	新しい大学であるから	115	1.8	263	4.2
6	その他	107	1.7	23	0.4
	不明	22	0.3	373	5.9
	計	6,299	100	6,299	100

問18 問16で「1 進学先の候補として考える」を選んだ方にお伺いします。
 県内の公立大学をお子様の進学先として考える時、公立大学に求めることを教えて
 ください。(あなたの考えに近いもの3つまで回答)。

子どもの進学先の候補として公立大学に求めることは、「専攻したい専門分野がある」が
 71.2%で最も高く、次いで「学費が安い」(45.8%)、「就職のサポートが充実している」
 (40.0%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	専攻したい専門分野がある	4,485	71.2
2	有名な教員の授業がある	117	1.9
3	単位交換など他大学との交流が盛んである	148	2.3
4	学内での学生同士や教員との交流が盛んである	220	3.5
5	地域の企業・住民との交流がある	486	7.7
6	少人数制授業が充実している	268	4.3
7	語学力が身につく	262	4.2
8	海外留学ができる	194	3.1
9	資格・免許取得のサポートが充実している	2,480	39.4
10	学習・生活のサポートが充実している	472	7.5
11	就職のサポートが充実している	2,519	40.0
12	県内の高等学校等に向けた推薦枠がある	902	14.3
13	自分の得意科目で受験できる	372	5.9
14	学費が安い	2,884	45.8
15	奨学金制度が充実している	406	6.4
16	自宅から通える	1,672	26.5
17	その他	33	0.5
	不明	54	0.9

問19 問16で「2 進学先の候補として考えない」を選んだ方にお伺いします。
 県内の公立大学を進学先の候補として考えない理由を教えてください。(回答は2
 つまで)。

進学先の候補として考えない理由は、「他に志望する進学先があるから」が59.8%で最
 も高く、次いで「新設大学であり不安であるから」(33.3%)、「公立大学であることは重視
 していないから」(27.7%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	他に志望する進学先があるから	757	59.8
2	公立大学であることは重視していないから	351	27.7
3	新設大学であり不安であるから	422	33.3
4	一人暮らしをさせたいから	117	9.2
5	その他	151	11.9
	不明	13	1.0

問 20 進学先の候補として考えることとは別に、お子様の教育について、次の教育などに対する関心度を教えてください。(以下のA~Eのそれぞれについて、あてはまるもの1つに回答)。

A 地域学

地域学に対する関心度は、「どちらともいえない」が45.0%で最も高く、次いで「関心がある」(25.6%)、「わからない」(15.4%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	関心がある	1,965	25.6
2	どちらともいえない	3,456	45.0
3	関心がない	960	12.5
4	わからない	1,186	15.4
	不明	111	1.4
	計	7,678	100

B リベラル・アーツ

リベラル・アーツに対する関心度は、「関心がある」が47.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(32.2%)、「わからない」(13.0%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	関心がある	3,671	47.8
2	どちらともいえない	2,474	32.2
3	関心がない	426	5.5
4	わからない	998	13.0
	不明	109	1.4
	計	7,678	100

C 情報教育 (データサイエンス教育を含む)

情報教育 (データサイエンス教育を含む) に対する関心度は、「関心がある」が56.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(29.8%)、「わからない」(8.8%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	関心がある	4,356	56.7
2	どちらともいえない	2,286	29.8
3	関心がない	239	3.1
4	わからない	677	8.8
	不明	120	1.6
	計	7,678	100

D 英語などの外国語による授業

英語などの外国語による授業に対する関心度は、「関心がある」が60.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(27.7%)、「関心がない」(5.3%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	関心がある	4,679	60.9
2	どちらともいえない	2,129	27.7
3	関心がない	405	5.3
4	わからない	354	4.6
	不明	111	1.4
	計	7,678	100

E 資格取得に役立つカリキュラム (授業)

資格取得に役立つカリキュラム (授業) に対する関心度は、「関心がある」が86.2%で最も高く、次いで「どちらともいえない」(8.5%)、「わからない」(2.8%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	関心がある	6,621	86.2
2	どちらともいえない	651	8.5
3	関心がない	82	1.1
4	わからない	212	2.8
	不明	112	1.5
	計	7,678	100

4 大学・短期大学に関する情報

問 21 あなたは、大学・短期大学に関する情報を得るときに何を参考に入手していますか。(あてはまるもの上位3つまで回答)。

大学・短期大学に関する情報の入手方法は、「大学・短期大学の入学案内やパンフレット」が73.1%で最も高く、次いで「大学・短期大学のホームページ」(51.1%)、「オープンキャンパス(公開授業なども含む)」(50.8%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	大学・短期大学の入学案内やパンフレット	5,612	73.1
2	学校が提供する進路指導の資料	3,488	45.4
3	塾・予備校が作成した資料	783	10.2
4	大学・短期大学による説明会・相談会	1,735	22.6
5	オープンキャンパス(公開授業なども含む)	3,904	50.8
6	大学・短期大学のホームページ	3,924	51.1
7	進学に関する本や雑誌	875	11.4
8	特に情報は必要としていない	120	1.6
	不明	125	1.6

問 22 県内の高等教育機関について、どの程度知っているか教えてください。(回答は各項目1つだけ)。

県内の高等教育機関についての認知度は、「進学先として検討している」が60.3%で最も高く、次いで「進学先として検討していないが、名前は知っている」(38.3%)、「名前も知らない」(0.2%)となっています。

※県内の高等教育機関のいずれかについて、「進学先として検討している」を選択された場合は、「進学先として検討している」としてカウントしており、以下同様のルールで整理をしています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	進学先として検討している	4,627	60.3
2	進学先として検討していないが、名前は知っている	2,943	38.3
3	名前も知らない	14	0.2
	不明	94	1.2
	計	7,678	100

5 新型コロナウイルス感染症の感染拡大について

問 23 新型コロナウイルス感染症の感染拡大は、お子様の進学や就職に対するあなたの思いに影響を与えたか教えてください。(回答は1つだけ)。

子どもの進路選択について新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響の有無は、「影響はない」が61.9%、「影響があった」が36.8%となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	影響があった	4,093	36.8
2	影響はない	6,887	61.9
	不明	138	1.2
	計	11,118	100

問 24 問 23で「1 影響があった」を選んだ方にお伺いします。
どのような影響があったかを教えてください。(回答は1つだけ)。

子どもの進路選択について新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響の内容は、「県外よりも県内に進学・就職してほしいと思うようになった」が46.9%で最も高く、次いで「県外でも、自宅から通えるところに進学・就職してほしいと思うようになった」(30.0%)、「進学から就職へ、または就職から進学へ見直してほしいと思うようになった」(8.6%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	県外よりも県内に進学・就職してほしいと思うようになった	1,918	46.9
2	県外でも、自宅から通えるところに進学・就職してほしいと思うようになった	1,227	30.0
3	進学から就職へ、または就職から進学へ見直してほしいと思うようになった	351	8.6
4	その他	560	13.7
	不明	37	0.9
	計	4,093	100

6 就職等

問 25 お子様には、高校卒業後または大学・短期大学・専門学校等への進学後、どこで就職をしてほしいか教えてください。(回答は1つだけ)。

将来、子どもに就職してほしい地域は、「県内・県外いずれでもよい」が50.7%で最も高く、次いで「県内(できれば県内)」(44.4%)、「県外(できれば県外)」(2.5%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	県内(できれば県内)	4,937	44.4
2	県外(できれば県外)	279	2.5
3	県内・県外いずれでもよい	5,639	50.7
	不明	263	2.4
	計	11,118	100

問 26 お子様には、現在、住んでいる地域にこれからも住み続けてほしいですか。あなたの「希望(できればこうしてほしい)」を教えてください。(回答は1つだけ)。

子どもに対する現在住んでいる地域への居住希望は、「県外でも構わない」が33.3%で最も高く、次いで「今の地域に住み続けてほしい」(20.7%)、「別の地域にでもいいから三重県内に住み続けてほしい」(14.8%)となっています。

No.	カテゴリ	件数	割合 (%)
1	今の地域に住み続けてほしい	2,298	20.7
2	別の地域にでもいいから三重県内に住み続けてほしい	1,651	14.8
3	学生時代は県外に住んでも、就職では県内に戻ってきてほしい	751	6.8
4	若いうちは県外に住んでも、30~40代までには県内に戻ってきてほしい	312	2.8
5	県外に住むことになっても、いずれ県内に戻ってきてほしい	914	8.2
6	県外でも構わない	3,701	33.3
7	わからない	1,293	11.6
	不明	198	1.8
	計	11,118	100